

循環器診療のギモン、 百戦錬磨のエキスパートが 答えます!

救急、病棟でのエビデンスに基づいた診断・治療・管理

序	永井利幸	3	(623)
Color Atlas		11	(631)

第1章 ER・急性期病棟におけるギモン：診断編

- 1. 絶対帰してはいけない胸痛、
帰しても安心な胸痛を教えてください**水野 篤 20 (640)
1. まず「帰宅させる」ってことの意味 2. 胸痛の鑑別 3. この胸痛は急性冠症候群か? 4. 覚えること多くて大変なんですけど...そこでリスクスコア 5. 問題はここからだ、確率をどうやって使う? 6. 時間軸を加味して、ACSを除外してゆく
- 2. ショック症例から心原性ショックを
短時間で鑑別するコツを教えてください**山根崇史 27 (647)
1. ショックの種類と血行動態からみたその鑑別 2. ショック患者に対する初期蘇生 3. 心原性ショックに対するGoalをどうするか? 4. 血行動態評価が重要
- 3. 「失神」診断の極意を教えてください!**坂本 壮 33 (653)
1. よくある失神症例 2. 失神の定義 3. 失神の分類 4. 失神患者のアプローチ ● Advanced Lecture: 1. syncopal seizure: 失神が原因で痙攣することもある! 2. 再発予防: 予防に勝る治療なし! 5. 症例の振り返り
- 4. ERにおける心電図判読のコツ、
絶対見逃してはいけない波形を教えてください**西原崇創 41 (661)
1. 心電図判読にもリスク層別化が必要 2. 比較することの重要性 3. 局在と重症度を予測する 4. 落とし穴に注意する

- 5. ERにおける心エコーのminimum essentialを教えてください**北井 豪 50 (670)
STEP 1. 循環器救急 (cardiovascular emergency) のスクリーニングをする STEP 2. 三大疾患を診断する STEP 3. 心機能評価・血行動態評価をする
- 6. 2018年現在、心不全の診断は実際どれがスタンダードなのか?**白石泰之 57 (677)
1. 病歴と身体診察が基本 2. BNPの有用性
- 7. 心不全、循環器疾患治療における呼吸器疾患/呼吸器感染症の考えかたとピットフォール**大野博司 64 (684)
1. 慢性心不全急性増悪、肺気腫/COPD急性増悪、気管支肺炎・肺炎の初期治療においては共通する治療と特有の治療を意識する! 2. 肺炎と心不全の鑑別はどこまで可能か? 3. 慢性心不全患者での肺気腫/COPD急性増悪の循環管理—右心不全に対する心構えを常にもつ! ● Advanced Lecture: 左心不全も右心不全も過剰輸液に注意を!
- 8. 心不全の原因特定にはどのタイミングでどのようなアプローチが理想的ですか?**横田 卓 74 (694)
1. 急性心不全の原因疾患 2. 急性心不全の診断・治療手順 3. 早期に心不全の原因特定が必要な疾患 ● Advanced Lecture: 高度房室ブロックをみたら心サルコイドーシスを想起する 4. 血行動態の改善を優先し、心不全が代償化してから原因特定を行ってもよい疾患
- 9. 急性大動脈症候群の最新Evidence Based Diagnosisを教えてください**真鍋 晋 81 (701)
1. どのようにして発症するのか? 2. どのようなときに疑うのか? 3. 見逃さないためにはどうすればよいのか? ● Advanced Lecture: 1. 人口調査から見える現在の大動脈解離 2. 急性大動脈解離を見逃せばどうなるのか?
- 10. 急性肺血栓塞栓症の最新Evidence Based Diagnosisを教えてください**辻 明宏 87 (707)
1. acute PTEの診断への手がかり 2. acute PTEの診断 3. acute PTEの診断アルゴリズム

第2章 ER・急性期病棟におけるギモン：治療編

- 1. 急性冠症候群に対する再灌流療法の適応と適切なタイミングを教えてください**川上将司 92 (712)
1. ST上昇型急性冠症候群は早期再灌流療法! 2. primary PCIの適応 3. ST低下だけでは冠動脈閉塞部位を推測できない 4. 非ST上昇型急性冠症候群はリスク層別! 5. PCI vs CABGの選択で知っておくべきこと

- 2. 心房細動の上手な救急対応を教えてください** ……鎌倉 令 99 (719)
 1. 心房細動は危ない不整脈か 2. 心房細動の診断 3. 救急外来での心房細動への対応 4. 注意が必要な心房細動
- 3. 急性心不全に対する血管拡張薬・強心薬の使い方・考え方を教えてください** ……田中寿一 106 (726)
 1. 血管拡張薬 2. 強心薬
- 4. 急性心不全に対する利尿薬および輸液管理について教えてください** ……中野宏己, 永井利幸 112 (732)
 1. 急性期治療方針選択における原則 2. 急性心不全における急性期輸液管理 3. 急性心不全における利尿薬の使い方 4. 急性期の体液量管理目標と慢性期への移行
- 5. 急性心不全の呼吸管理のコツを教えてください** ……義久精臣, 竹石恭知 120 (740)
 1. 酸素吸入の方法と使い分けについて教えてください 2. ここがポイント：うっ血性心不全の病態とNPPVの意義について教えてください 3. ここがピットフォール：陽圧換気療法は血行動態へ影響しますか？ 専門医のクリニカルパール：1. NPPVの種類・開始のタイミング・設定について教えてください 2. NPPV管理のコツについて教えてください 3. 気管挿管や気管切開の適応・開始のタイミングについて教えてください 4. FIO₂の決め方と調節について教えてください 5. NPPVや人工呼吸管理時の鎮静について教えてください
- 6. 急性肺血栓塞栓症に対する最新の薬物療法, その選択についていけません** ……辻 明宏 127 (747)
 1. acute PTEの診断と治療について 2. DOACを用いた最新の治療指針

第3章 慢性期病棟におけるギモン：ウマイ慢性期管理とは？

- 1. 安定冠動脈疾患に対する血行再建の真の適応はどこにあるのでしょうか？** ……猪原 拓 134 (754)
 1. 安定狭心症に対するPCIのエビデンス ● Advanced Lecture：FFR ● Advanced Lecture：ORBITA試験 2. 安定狭心症に対する「適切」なPCIとは？
- 2. 左主幹部, 多枝病変に対してPCIとCABGはどのように選択すればよいのでしょうか？** ……外海洋平 141 (761)
 1. PCIとCABG：それぞれの利点 2. 左主幹部, 多枝病変を有する患者に対する無作為化比較試験 3. SYNTAX Score II ● Advanced Lecture：冠動脈CT検査の進歩で侵襲的造影カテーテル検査はもう不要？

- 3. PCI後の抗血小板薬はどのようなレジメンで
結局いつまで続ければよいのでしょうか？** ……大塚文之 151 (771)
1. DAPTは長期がよいのか否か？ 2. 短期DAPTの場合はどこまで短縮できるのか？ 3. 抗凝固療法を必要とする場合のレジメンはどうしたらよいのか？ ● Advanced Lecture：DAPTから抗血小板薬単剤に減量する際、アスピリンを残すか、P2Y₁₂受容体阻害薬を残すか？
- 4. 観血的処置時の抗血栓療法マネージメントのコツを
教えてください** ……横井研介 160 (780)
1. 抗血栓療法とは 2. マネージメントの実際
- 5. 心房細動に対するカテーテルアブレーションは
本当に効果があるのでしょうか？** ……山口尊則 166 (786)
1. AFアブレーションの基礎知識 2. AFアブレーションの適応 3. AFアブレーションの効果とは ● Advanced Lecture
- 6. 心不全で利尿薬が思うように効かない場合は
どのようにすればよいのでしょうか？** ……坂口大起 173 (793)
1. 利尿薬の腸での吸収が落ちている 2. 利尿薬の腎への到達が落ちている 3. 利尿薬の腎での作用が落ちている
- 7. 心不全の退院までに導入すべき至適薬物療法の適応、
目標用量、そして注意点を教えてください** ……夜久英憲 180 (800)
1. 心不全治療薬のエッセンス 2. 服薬アドヒアランスへの介入はきわめて重要！ ● Advanced Lecture：わが国未承認の心不全予後改善薬
- 8. 降圧薬の上手な選択のしかたが知りたいです** ……又吉哲太郎 188 (808)
1. 基本的な使用法 2. 血圧を規定している因子と主要降圧薬の特徴
- 9. 高齢者心不全の多剤処方の整理のコツを教えてください** ……川上利香 195 (815)
1. 症候性HFrEFの治療 2. 症候性HFpEFの治療
- 10. 末期心不全患者に対する緩和ケア導入のタイミングを
教えてください** ……柴田龍宏 201 (821)
1. 心不全患者が抱える問題 2. 心不全患者の病みの軌跡 3. どのように心不全の緩和ケアを導入していくか

第4章 新しい治療薬・デバイスのギモン：実際のトコどうなの？

1. エビデンスに基づいた抗凝固療法の 適応と使い分けを教えてください	金山純二, 里見和浩	208	(828)
1. 心房細動に対する抗凝固療法 2. 症例			
2. PCSK9 阻害薬は実際どのような症例に使用するのでしょうか？ スタチンとの違いも含めて教えてください	小倉正恒	218	(838)
1. FHは頻度が高いが診断率が低い 2. PCSK9の発見とその生理学的作用 3. PCSK9阻害薬の薬理作用 ● Advanced Lecture 4. PCSK9阻害薬のエビデンス 5. PCSK9阻害薬処方の実際			
3. TAVI, MitraClipの適応について非専門医が 知っておくべきことを教えてください	大野洋平	225	(845)
1. 大動脈弁狭窄症 (AS) 2. 僧帽弁閉鎖不全症 (MR) 3. TAVIおよびMitraClipの現状そして今後			
4. 最近、不整脈関係の新規デバイスが多すぎて混乱します。 それぞれの利点と適応について教えてください	長瀬宇彦	232	(852)
1. リードレスペースメーカー 2. 皮下植込み型除細動器 (S-ICD) 3. 着用型自動除細動器 (WCD) 4. 植込み型心電図記録計			
● 索引		238	(858)
● 執筆者一覧		243	(863)

Column

そのAFは本当に無症候性か？	170	基本的緩和ケアと専門的緩和ケア	206
アブレーション後早期の再発は再発か？	171		